

令和6年度（2024年）度 追手門学院小学校 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

『建学の礎として、人格形成を第一義としつつ、最先端の教育環境による「革新」をも備えたゆるぎない伝統校』

2 中期的目標

- 次代が求める高水準の教育の展開
 - 高い英語力を育成する学校
 - ICT教育の実践強化
 - 確かな学力を身に付けさせることができる学校
- グローバル教育の推進
 - 国際教育センターによるグローバル教育の推進
 - 日本人としてのアイデンティティを持ち、正しい礼儀作法を身に付けさせる。
- 「志の教育」の具現化
 - 志を持ち、目標に向かうチャレンジ精神や忍耐力の育成
 - 多様性を受容し、自分以外のものを大切にする心の育成

【保護者アンケートの結果と分析・学校関係者評価委員会からの意見】

保護者アンケートの結果と分析（令和6年11月実施）	学校関係者評価委員会からの意見
<p>*そう思う：3、どちらかといえばそう思う：1、どちらかといえばそう思わない：-1、そう思わない：-3、わからない：0の加重平均</p> <ul style="list-style-type: none">2024年度は、過年度と比較して満足度の高かった2023年度から、さらに評価が上がった。8項目において2020年度から2024年度の5年間で最も高い評価を受けている。「中学校進学指導（6年生のみ回答）」が0.24ポイント、「各種情報公開」が0.11ポイント、「わかりやすい授業」が0.10ポイント、評価が上がった。入学を勧める比率は、肯定派が95.2%となり、昨年度より肯定派の比率が1.3ポイント増加した。	<ul style="list-style-type: none">保護者の満足度が高いのは指導の継続の結果である。学校行事が充実している学校である。卒業して時間を経てから改めて本校の価値がわかる。今後も「伝統と革新」の教育方針のもと指導を継続していただきたい。志の教育は本校の教育方針の基盤であり、保護者からも評価の高い項目である。今後も継続していただきたいSNSに関する指導は今後とも継続していただきたい。

3 本校の取り組み内容および自己評価

中間的 目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1. 次代が求める高水準の教育	①高い英語力の育成	① 3年生以上での能力別授業の実施	①能力別授業の実施	① 児童の英語力に合わせた課題の克服など、効率的で効果的な授業の実施を継続していく。
	②児童の英語力の把握とカリキュラム作成	② 3～5年生 TOEFL Primary 年2回実施と活用	②TOEFL Primary スコア分析年2回	② TOEFL Primary のスコアを分析し、能力別クラスや次年度のカリキュラム作成に繋ぎ、活発化させていく。
	③姉妹校とのコラボ授業	③姉妹校と遠隔授業の実施	③姉妹校と遠隔授業の継続的・発展的交渉月1回	③ オンライン授業交流は、本年度も40回以上実施。
	④ICTの活用と主体的・対話的で深い学び	④追小ならではの主体的・対話的で深い学びを実現するため、ICTを活用したPBLの研究会に参加し、研究を深める。	④ICTを活用したPBLの研究会に参加年3回。 ☆英語力を伸ばす指導について、保護者満足度85%以上	④ CS教育部員を中心にICTを活用したPBLの研究会に年3回以上参加し、報告会を開いた。授業支援アプリ Qubena の運用を開始した。 ☆ICTを活用した授業は、保護者満足度97.7%である。
	⑤個別最適化学習とAIアプリ	⑤個別最適化学習に一環として、AI教材の検討を行う。	⑤AI教材の検討会議年5回	⑤ AI教材の検討会議を5回以上実施し、英語モジュールでAIアプリ Monoxer の活用している。
	⑥STEAM教育とプログラミング教育	⑥STEAM教育の実施とプログラミング学習の研修と公開授業の実施。外部機関との共同研究。	⑥STEAM教育の一環としてプログラミング学習の教員研修実施年3回	⑥ プログラミング学習の研修会を年3回以上、公開授業を各学年で実施した。
2. グローバル教育の推進	①国際交流行事の充実	① 海外姉妹校の相互訪問とオンライン授業の実施(授業)	① オーストラリアとハワイの相互訪問実現とオーストラリアとのオンライン上の授業の実施。	①オーストラリア訪問は関空のシステムトラブルにより中止となったが、その他の相互交流は実施できた。
	②国際教育センターによるグローバル教育の推進	② SUNプロジェクトの計画立案 サンフランシスコ地区の科学博物館見学・スタンフォード大学STEMキャンプ・IPS細胞研究所見学等	② 第1回SUNプロジェクトの実施。	②第1回のプロジェクトを7月28日(日)から8月7日(水)の期間に実施した。当初の予定通りスタンフォード大学STEMキャンプ・IPS細胞研究所見学等を行い、第1回として十分な成果を残すことができた。
	③宇宙未来プロジェクトの実施	③ 最先端企業や国際機関の視察 SDGs を切り口とした探究的な学習を計画。	③ 11月27日(水)から7回に渡り事前指導を実施した。	③ 12月23日(月)から25日(水)にかけて計画を実施した。JAXA 筑波宇宙センター・日本科学未来館・国立科学博物館・国立西洋美術館を見学。児童が将来国際的に活躍できる資質・能力の育成を図った。
	④公開セミナー	④ 国際教育に関する公開セミナーの検討	④国際教育に関する公開セミナーの計画会議月1回	④ 追手門大学とタイアップして一般教諭対象の英語指導者講座を年3回実施しセミナーとして定着してきた。
	⑤日本人としてのアイデンティティの育成	⑤ NIPPON再発見プロジェクト実施による日本の良さの見直し	⑤年3回のNIPPON再発見プロジェクトの実施	⑤ 6月8日(土)第1回 奈良里山での茶摘み体験・ジビエ料理体験 10月26日(土)第2回 建築彩色文様の彩色体験と山の辺の道の散策 2月8日(土)第3回 雅楽体験・阪口楼
	⑥正しい礼儀作法	⑥ 正しい礼儀作法を身に付ける。	⑥ 1～4年生が学期に1回礼法の授業を受講する。 ☆国際教育に関する保護者満足度85%以上。	⑥ 1～4年生が学期に1回礼法の授業を受講。礼の仕方や箸の持ち方など、正しい礼儀作法を学んだ。 ☆国際教育に関する保護者アンケートは、96.8%の保護者が「満足している」と回答。

<p style="text-align: center;">3. 「志教育」の具現化</p>	<p>①キャリア教育の推進</p> <p>②人材の発掘</p> <p>③児童の意識調査</p> <p>④礼儀礼節</p>	<p>①児童が強い憧れを抱くキャリアを有する人材の選定と来校の打診を行う。</p> <p>②大学1・2回生となる追小卒業生への進学先調査を実施する。</p> <p>③児童の夢や生活を調べ、児童の意識を知る。</p> <p>④礼儀礼節や規範を育てる指導は、小学校教育の根幹であるので、徹底させる。</p>	<p>① 卒業生による講演会の実施</p> <p>② 1月の成人の日同窓会で実施し、リストを作成する。</p> <p>③生活実態調査と児童の夢調査を年1回実施する。</p> <p>④礼儀礼節の指導を週1回実施する。</p> <p>☆志の教育に関する保護者満足度85%以上。</p>	<p>①卒業生リストは作成中。本校卒業生で気象予報士の1名による講演会を実施した。卒業生が歩んだ道が、今後の児童の道標となるであろう。</p> <p>② 128期二十歳の集いを開催した。合わせてアンケート調査を実施。今後も定期的に調査を継続していく。</p> <p>③ 子ども達が将来に希望を持って進んで行けるよう、生活実態調査と夢調査を1回ずつ実施し、日々の指導に活用した。次年度の講演講師の選定にも役立てていく。</p> <p>④ 運動場での朝礼を週2回実施した。礼儀礼節や規範意識を朝礼での訓話や週の目標に落とし込み、指導を繰り返した。</p> <p>☆志の教育に関する保護者アンケートは、90%以上の保護者が「満足している」と回答。</p>
---	--	---	--	--